



Network 通信 No.61

令和4年度総会報告(オンライン開催)

令和4年度総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、Zoomによるオンライン形式で開催しました。全ての加盟館が参加（出席館17館・委任状提出館8館）し、総会における議事は全て承認されました。なお、長年会長を務めていただきました千葉経済大学附属図書館の齊藤誠一氏が理事となられ、新会長に神田外語大学附属図書館の吉野知義氏が選出されました。

総会(オンライン開催) 令和4年6月21日

1 議事

- (1) 令和3年度事業報告について
- (2) 令和3年度会計決算報告について
- (3) 令和4年度事業計画(案)について
- (4) 令和4年度会計予算(案)について
- (5) 令和4年度役員(案)について

2 報告事項

- ・令和4年度会費の納入について

令和4年度の新役員は以下のとおりです。

会 長	吉野 知義	(神田外語大学附属図書館)
副会長	山崎 克彦	(千葉市美浜図書館)
理 事	山田 隆昭	(敬愛大学・千葉敬愛短期大学 メディアセンター)
	齊藤 誠一	(千葉経済大学総合図書館)
	大森 明香	(千葉県立中央図書館)
	細川 芽	(千葉大学附属図書館)
	笠原 政宏	(放送大学附属図書館)
	高橋 理枝	(日本貿易振興機構 アジア経済研究所図書館)
監 査	田中 学	(千葉市議会図書室)
	大井 力	(千葉市生涯学習センター)

事務局 千葉市中央図書館

千葉県図書館情報ネットワーク協議会 加盟館一覧(令和4年度)

No.	加盟館(室)名	No.	加盟館(室)名
1	量子科学技術研究開発機構本部図書館	14	千葉市若葉図書館
2	神田外語大学附属図書館	15	千葉市緑図書館
3	敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	16	千葉市美浜図書館
4	淑徳大学附属図書館千葉図書館	17	千葉大学附属図書館
5	千葉経済大学総合図書館	18	千葉明德短期大学図書館
6	千葉県立中央図書館	19	東京情報大学情報サービスセンター
7	千葉市議会図書室	20	放送大学附属図書館
8	千葉市教育センター図書資料室	21	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館
9	千葉市美術館美術図書室	22	植草学園大学・植草学園短期大学図書館
10	千葉市中央図書館	23	千葉市生涯学習センター調査・資料室
11	千葉市みやこ図書館	24	千葉県立保健医療大学図書館
12	千葉市花見川図書館	25	千葉市男女共同参画センター 情報資料センター
13	千葉市稲毛図書館		

令和4年度第1回研修会報告

令和4年度第1回研修会をZoomによるオンライン形式で開催しました。

今回は、「図書館における著作権の基本」をテーマに、図書館における著作権の基本について、法的な側面からの講義を受講し、加盟館が図書館関係の著作権について正しい知識を持ち理解を深めることで、今後の取り組みに活かすことを目的として五常総合法律事務所の数藤雅彦^{すどうまさひこ}弁護士にご講義いただきました。わかりやすい講義で、質問にも丁寧にご回答いただき、とても有意義な研修会となりました。

日 時 令和4年7月15日(金) 13時25分～15時00分

開催方法 Zoomによるオンライン開催

テ ー マ 「図書館における著作権の基本」

講 師 数藤 雅彦氏(五常総合法律事務所)

講師紹介 五常総合法律事務所パートナー弁護士。

著作権や個人情報、データ関連の法律問題を広く取り扱い、図書館、博物館、美術館等の文化施設からの相談にも対応している。著作権法学会会員、デジタルアーカイブ学会法制度部会副部長、東京文化資源会議幹事。

著作は『デジタルアーカイブ・ベーシックス1 権利処理と法の実務』、『令和2年改正 個人情報保護法の実務対応－Q&Aと事例－』(いずれも共編著)ほか多数。

研修会「図書館における著作権の基本」の概要について

1. 目的

- (1)著作権の基本を解説
- (2)図書館と著作権の解説書を読むための前提知識

2. 進行

- (1)著作権の基礎知識
- (2)最近の法改正
- (3)よくある質問
- (4)質疑応答



講師：数藤 雅彦氏

令和4年度講演会報告

令和4年度講演会は、図書館総合展のイベント「図書館総合展フォーラム in アジア経済研究所図書館」に千葉市図書館情報ネットワーク協議会が全面協力し、Zoomによるオンライン形式で開催されました。

アジア経済研究所図書館の見学会、千葉市図書館情報ネットワーク協議会の紹介、パネルディスカッションなど多彩な内容で開催され、ネットワーク協議会からは33名、全体では100名を超える方々が参加される盛況な講演会となりました。

日 時 令和4年10月2日(日) 13時00分～16時30分

開催方法 Zoomによるオンライン開催

開催場所 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

協 力 千葉市図書館情報ネットワーク協議会

内 容 第1部：アジア経済研究所図書館見学会

「アジア経済研究所図書館ってどんなところ？地域ライブラリアンが魅せる推しコレクション」

○ナビゲーター：坂井 華奈子氏(アジア経済研究所学術情報センター図書館情報課 課長代理)

○司会：二階 宏之氏(アジア経済研究所学術情報センター図書館情報課 主幹)

第2部：パネルディスカッション

「千葉とつながる、アジアとつながる～レファレンスサービスから見る図書館の役割」

☆千葉市図書館情報ネットワーク協議会について

○吉野 知義氏(千葉市図書館情報ネットワーク協議会会長、
神田外語大学学術・研究支援部 ゼネラルマネージャー)

◇パネルディスカッション登壇者

○萩屋 勇氏(千葉市中央図書館情報資料課 課長補佐)

「千葉市図書館のレファレンスサービス」

○小林 磨理恵氏(アジア経済研究所学術情報センター図書館情報課 課長代理)

「レファレンス力の源とは何か-アジアのレファレンス経験から考える-」

○齊藤 誠一氏(千葉経済大学総合図書館 館長)

「地域の課題解決支援と地域連携」

令和4年度加盟館紹介展報告

千葉市図書館情報ネットワーク協議会について多くの方に知っていただき、加盟館を利用していただくことを目的に、平成18年度から「加盟館紹介展」を実施しています。

今年度は、約40,850人の方々にご来館いただきました。加盟館紹介展の各パネルは、思わず見入っ

てしまうような個性あふれる展示となっていました。開催中は、来館された方々が、パネルをじっくりとご覧になる姿が見受けられ、各加盟館のパンフレットやイベント紹介のチラシなども多くの方々にお持ち帰りいただき、大変好評のうちに終了しました。

[開催期間]

令和4年10月15日(土)～
10月30日(日)

[会場]

千葉市生涯学習センター
アトリウムガーデン(1階)



令和4年度第2回研修会報告

令和4年度第2回研修会をZoomによるオンライン形式で開催しました。

今回は、「電子図書館の導入と展開」をテーマに、「札幌市電子図書館」の立ち上げやコンセプトづくりから着手した「札幌市図書・情報館」の初代館長を務められ、総務省地域情報化アドバイザーとしても活動される浅野隆夫氏(あさの たかお)を講師

に迎え、今の時代に最適化した図書館とは何かを考え、図書館員が生き生きと働き、利用者も満足できる図書館づくりに取り組んでいくため、電子書籍の活用や独自資料の電子化等についてご講義いただきました。豊富な知識と経験に基づいた講義で、新たな発見のあるとても有意義な研修会となりました。

日 時 令和 5 年 2 月 28 日(火) 10 時 00 分～11 時 30 分

開催方法 Zoomによるオンライン開催

テ ー マ 「電子図書館の導入と展開」

講 師 浅野 隆夫氏(札幌市中央図書館 事業推進調整担当課長)

講師紹介 札幌市役所の Web リニューアルや情報化拠点施設の建設など地域情報化推進事業を行った後、2010 年に図書館へ異動、図書館システムの全面リニューアルと同時に 2014 年に「札幌市電子図書館」の立ち上げを行う。その後、課題解決型図書館「札幌市図書・情報館」のコンセプトづくりから着手し、2018 年の開館と同時に初代館長に就任。この「札幌市図書・情報館」は 2019 年に Library of the Year(ライブラリー・オブ・ザ・イヤー)2019 の「大賞」と「オーディエンス賞」をダブル受賞。その後、中央図書館で利用サービス課長を務めたのち、10 月からは新たな図書施設の導入を検討するべく、事業推進調整担当課長に就き、また、2020 年からは総務省地域情報化アドバイザーとして、神戸市や広島市、神奈川県などで新しい図書館作りをサポートしている。

研修会「電子図書館の導入と展開」の概要について

1. 進行

- (1)開会挨拶・講師紹介(吉野会長)
- (2)研修会
- (3)質疑応答・意見交換

2. 研修内容

- (1)「電子図書館と電子書籍貸出サービスはイコールではありません。」
- (2)コロナ前後で起こった変化
(電子化の進行、そして同時に見えた大切にしたいこと)
- (3)札幌市電子図書館導入まで
(2012 年実証実験時の意識から 2014 年サービス開始へ)
- (4)電子図書館を運用して見えた3つの課題
- (5)疑問:「地域の図書館が本当にやらなければならないのか?」
- (6)電子書籍の弱みを理解し、強みを活かす
(図書館関係者のひとことからデジタル絵本実証実験へ)
- (7)新型コロナウイルス拡大時に行ったこと
(#図書館を止めるな、を合言葉に)
- (8)情報リテラシーを育てること
(市民とともに作るコンテンツ)
- (9)自治体の中での図書館の存在感を醸す
(図書館が電子化の推進役に)
- (10)若い人たちへのアプローチ
(図書館に来ていないひとたちに)
- (11)電子図書館事業の真価は何か、その意義はどこにあるのか



講師:浅野 隆夫氏

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成 6 年 1 月に設立。この Network 通信は、加盟館の情報交流並びに協議会の活動状況を加盟館利用者等にお知らせすることを目的として、平成 10 年 10 月から発行しています。

Network 通信 No.61 2023 年 3 月 31 日発行
千葉市図書館情報ネットワーク協議会事務局：
〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7
千葉市中央図書館内
TEL 043-287-4002 FAX 043-287-4074
千葉市図書館情報ネットワーク協議会
HP: <http://www.ccal.jp/>

